FUSSA CITY 50th ANNIVERSARY

広報ふっさ

令和２年
３月１日
No. 1042

～市制施行 50 周年企画～

毎号主役が交代！
「ふっさ市民写真リレー」

50 周年企画として、市民の皆さんをインタビュー形式で紹介します！ 今号の主役については、「2 面」に掲載していますので、ぜひご覧ください！

福生の好きなところを一言！

谷合真里奈（たにあいまりな）さん

今号の主な記事

2 面車両の登録・廃車・変更等の手続きについて　3 面ふっさ環境市民会議会員募集　4 面減免世帯への指定収集袋の交付について
5 面福祉バス代車運行について　7 面ふっさっ子グローバルヴィレッジ事業休止のお知らせ　8 面わかたけ図書館 16 ミリフィルム映画会

新型コロナウイルス感染症について

※令和２年２月 18 日時点

連日報道される、中華人民共和国湖北（こほく）省などで発症した「新型コロナウイルス感染症」。国内でも、新型コロナウイルス感染症患者が複数報告されています。感染拡大を防ぐためにも、インフルエンザ対策と同様の「手洗い」や「咳（せき）エチケット」などの感染対策を行いましょう。

【新型コロナウイルス感染症に関する一般的な電話相談窓口】

〈東京都の電話相談窓口〉☎ 03・5320・4509（午前９時～午後９時）
〈厚生労働省の電話相談窓口〉☎ 0120・565653（午前９時～午後９時）

▼新型コロナウイルス感染症に感染した疑いのある方

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください

・風邪の症状や 37. 5℃以上の発熱が４日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときを含めます）
・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
※高齢者や基礎疾患等のある方は、上記の症状が２日程度続く場合

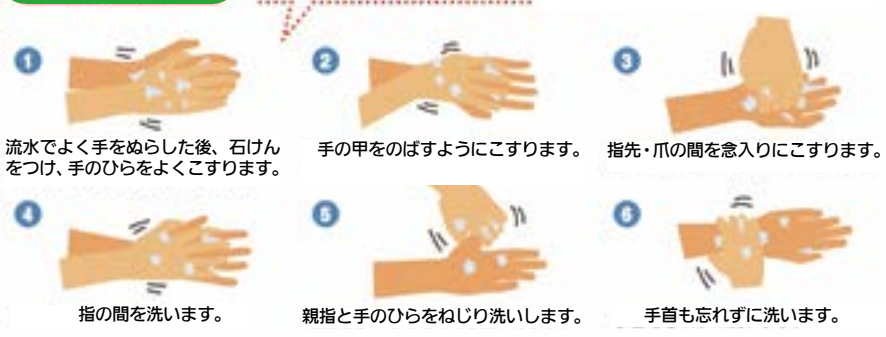
センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

【感染した疑いのある方の電話相談窓口】

〈西多摩保健所「帰国者・接触者電話相談センター」〉☎ 0428・22・6141（平日午前９時～午後５時）※夜間・土・日・祝日は、以下の都・特別区・八王子市・町田市合同で開設したセンターが担当
〈都・特別区・八王子市・町田市合同「帰国者・接触者電話相談センター」〉☎ 03・5320・4592（平日午後５時～午前９時、土・日・祝日は終日）

▼予防のポイント

①手洗い　**正しい手の洗い方**



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳（せき）エチケット　**３つの咳（せき）エチケット**　電車や職場、学校など人が集まるところでやりましょう

全力投球

福生市長　加藤育男

50年前、そして50年後

市制施行50周年を迎える今年、記念事業がすでに実施されていますが、メインイベントはやはり７月５日の記念式典です。当日は、東京都知事選挙の投開票日と重なりますが、ぜひ皆さんにご参加いただきたいと思っています。

この50年での変化を見てみますと、福生が町から市に生まれ変わった昭和45年の人口は約３８，０００人、そのうち65歳以上は約１，４００人、児童・生徒数は約４，８００人でした。それが現在は人口約５８，０００人、65歳以上は約１５，０００人、児童・生徒数は約３，４００人と、その構成は大きく形を変えています。

財政規模を見ますと、昭和45年度当初予算は一般会計約10億円、特別会計約６億円でした。それが、令和元年度当初予算では一般会計約251億円、特別会計約125億円となっています。今と昔とでは物価はもちろん、特別会計の種類なども違いますが、単純に数字だけ見るとその規模の差に驚きます。

世界はこの50年で大きく変わりました。そして、今から50年後の未来はどのような世界になっているのでしょうか。想像もつきませんが、現在の私たちのまちづくりは50年後に確実につながっていきます。先人に倣（なら）い、未来への道を築いていきたいと思います。

福生市のホームページアドレスは https：//www.city.fussa.tokyo.jp/ です

再生紙を使用しています。